

衣類のお手入れ通信

一年を振り返る時期になりました。社会全体では地震の多さが目立ちましたね。自然の脅威を感じ、安全や安心への思いが強くなりました。何事も急な対応だと慌てて不十分になりやすいので、避難用品などは普段から用意しておきたいものです。年の終わりに準備を整えながら、新しい年が穏やかであるよう祈ります。

【今、モンゴル産のカシミアが注目されています】

冬物の衣類を購入する際に「カシミア100%」と表示されていると、つい触れてみたくなりますね。肌にやさしくしっとりとしていて上品な光沢感があり、しかも軽くて暖かい。カシミアはまさに「繊維の宝石」です。それもそのはず、カシミアは山岳地帯に生息するカシミアヤギの首元の産毛のみを使用した繊維で、1頭から約200グラム程度しかとれません。そのため、セーターを1着作るには数頭分のカシミアヤギの産毛が必要になります。カシミアのセーター1着の価格が何万円もするのはうなずけますね。しかし、平成18年ごろからこの「カシミア100%」のセーターが、インターネットを中心に1着数千円という安値で販売されるようになりました。そこで平成20年に公正取引委員会により、安価なカシミア製品の調査が行われました。すると、「カシミア100%」と表示されていても実際には20%未満、ひどいものでは数%しかカシミアが入っていないものが見つかりました。これらの安価な製品にはカシミアの代わりに羊やヤク、死んだカシミアヤギの産毛が混入していたそうです。偽装の手口は巧妙で、繊維を引っ張ったり薬品を使用したりして繊維表面の形状や手触り感がよく見えるように装っています。

現在、これらの偽装カシミアの流通量は本物に比べて約4倍ともいわれています。加工の際に毒性の強い有害物質が使われるとの報告もあり、偽装したカシミア製品を家庭で洗うと簡単に穴があいてしまいます。また、死がいの毛は虫に食われやすいので、極端に安価なカシミア製品には手を出さない方がよさそうです。そこで今、注目を集めているのが「モンゴル産」のカシミアです。流通経路がシンプルのため他の獣毛繊維が混入する確率が低いといわれていて、日本国内の商社や百貨店も「モンゴル産」のカシミア製品を販売する傾向が強いです。**カシミア製品は、産地や流通経路などにも気を付けて慎重に購入することをお勧めします。**

定休日：日曜日・祝日 営業時間：7時30分～19時

〒496-0901 愛知県愛西市佐屋町新田1-6 TEL・FAX0567-26-9880 <http://105-929.com>

発行者：東郷俊博

愛知県愛西市、弥富市、蟹江町、飛島村、津島市、集配致します。